

この時期の農作物の管理について

令和6年3月25日

農業技術課

<生育状況>

本年のモモの開花は、果樹試験場（標高420m）の予想では4月2日と、昨年より10日遅く、平年より2日遅い生育となっています。

野菜では、スイートコーンの二重トンネル（2月中旬は種）で葉枚数が約8枚、一重トンネル（3月上旬は種）で約3枚であり、前年に比べやや遅れた生育となっています。

甲府地方气象台によると、前線を伴った低気圧の影響で今週は曇雨天が続く見込みです。今後の気象情報に注意し、農作物の管理を徹底してください。

山梨県の天気予報（7日先まで）									
2024年03月25日11時 甲府地方气象台 発表									
日付	今日 25日(月)	明日 26日(火)	明後日 27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	31日(日)	01日(月)	
山梨県	雨時々止む 	雨 	晴時々曇 	曇後一時雨 	曇一時雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	
降水確率(%)	-/50/80	90/90/80/50	20	60	60	20	20	20	
信頼度	-	-	-	B	B	A	A	A	
甲府 気温 (℃)	最高	12	11	16 (14~19)	14 (11~16)	20 (18~24)	22 (19~25)	23 (20~25)	20 (18~25)
	最低	-	8	6 (4~7)	5 (3~7)	8 (5~10)	7 (5~10)	6 (4~9)	7 (4~9)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温			
甲府 平年並 7 - 25mm				5.0℃		17.1℃			

<果 樹>

1 露地栽培

- 開花期間中のスモモでは、天候の回復を待って、受粉回数を増やし丁寧に人工受粉を行う。
- 雨上がり後は、スピードスプレヤーの送風機等を利用し、花が乾きしだい人工受粉を行う。
- スモモやモモなどでは、開花の状況を確認し、凍霜害を受けている場合は、人工受粉など結実確保に努めるとともに、収量調節は結実状況を見極めながら実施する。
- モモでは、花粉がある品種についても人工受粉を行う。
- 凍霜害発生危険温度が見込まれる場合に限り、燃焼法を用いる。
- ブドウの休眠期防除は、天候に十分注意し防除時期が遅れないようにする。

2 施設果樹

- オウトウ等の雨よけ施設では、ビニール被覆により、園内への冷気侵入を阻止し、降霜を防止する。
- 無加温ハウスでは、カーテンを閉めて保温に努めるとともに、簡易ストーブ等を使って加温する。

- ハウス内の夜温低下を防止するため、土壌表面を清耕し、日中の気温の高い時間に散水をするとともに、午後早めに密閉して、ハウス内に余熱を確保する。

<野菜>

1 トンネル（スイートコーン）

- 一重トンネルでは、生育状況を確認してから間引き作業を行う。
- 低温が予想される場合は、不織布等を利用して保温に努める。
- 日中はトンネルの換気を十分行い、軟弱徒長を防ぐとともに分けつの確保に努める。

2 露地野菜

- 育苗中の野菜は、低温に馴化させて健苗育成に努めるとともに、凍霜害の発生が予知される場合は、保温資材などを被覆する。
- 定植後の被害に備え、予備苗を確保しておく。
- スイートコーンの露地栽培では、は種後に低温に遭遇しないよう、当面の予想最低気温を確認しては種日を決める。また、は種前にビニールマルチ等を張り、地温の確保に努める。